

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	代表者	理事長 村城 正	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域で最期まで安心して暮らし続けられるようサポートしていきます。 「あすなら 10 の基本ケア」に沿って地域との触れ合いの中で、自分の出来る事、役割を見つけながら、生き甲斐を持ち、普通の暮らしを継続できるよう支援します。 そして法人として地域に根ざして地域社会に貢献していきます。
事業所名	あすならホーム西の京	管理者	溝口 佳代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	6人	1人	人	6人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価確認	会議に参加されなくても、わかりやすいように情報を出していく。全体での取組みを継続していきます。	情報を全員が閲覧できるようにしており、会議に参加できなくても情報共有は出来ています。	高い意識を持たれて取り組もうとされていると感じた。「できていない」意見が多い項目については、より具体的に何を取り組んだらいいのか意識を共有しておく必要があるかと思えます。	職員全員が利用者と丁寧に深く関わりを持つようにします。アセスメント表などは職員全体で情報共有し、日々の情報交換をします。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者さんにとって居心地の良い雰囲気心がけます。整理整頓をして、職員にとっても働きやすい職場にします。	コロナ禍であり空調には特に気をつけており、利用者さんにとって過ごしやすい場所になっています。	コロナ禍でも換気に重点をおいでおられ、居心地の良い環境を提供しておられます。	地域の方に気軽に立ち寄って、相談してもらえよう環境を目指します。
C. 事業所と地域のかかわり	再開した活動には積極的に参加し地域と関わります。新しいサロンが出来たので、つながりを広げていきます。	新しいサロンができ、地域の方が集える場所を提供しています。サロンでの学習会には地域の方に参加していただけています。	地域の方が相談に行かれている印象がある。サロンや買物支援等の取り組みは地域の大切な資源なので、今後も包括からも必要な方にお伝えしたいです。	体操だけでなく学習会、買物支援を通じて、地域の方に幅広く参加していただけるよう周知していきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染症に注意しながら外に出て、社会とのつながりが切れないようにします。	事業所の取組みや活動内容を学習会で周知したり、職員が地域の方とつながる仕組みを継続しています。	利用者様の ADL の状況によって必要性が異なると思う点についてはわからない。	サロンの体操を通じて地域との関わりを強化していきます。地域とつながる仕組みを継続します
E. 運営推進会議を活かした取組み	ご家族にも参加してもらえようように発信していきます。地域やご家族の悩みをその場で共有し改善に努めます。	コロナ禍で開催が中止になることが多く、地域やご家族の方の悩みを聞く機会があまりありませんでした。	利用者様との関わりの報告があった。参加者の方の悩みに経験された方が答えるという場面があり、ピアサポートの場になっていると感じた。	地域の方やご家族の悩み事を受け止められるよう、広く参加をしてもらおう声掛けをしていく。

F. 事業所の 防災・災害対策	火災だけでなく他の災害を想定した訓練を実施していきます。	事業所として火災に加え地震等の災害の想定した訓練を実施しています。職員間の安否確認ツールも使っています。	防災計画の策定がされているかと思うので、今後知りたい。	年2回の防災訓練には火災と地震を想定しており、地域の方にも参加いただき実施していきます。
--------------------	------------------------------	--	-----------------------------	--

